

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和 8 年度～令和 12 年度（5 年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（なかがわ） 那珂川森林計画区 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 えん な 塩那森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、栃木県北東部に位置する<sup>おおたわら やいた な すしおぼら な すからす</sup>大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、<sup>やま しおや な す な がわ</sup>塩谷町、那須町、那珂川町の 4 市 3 町に所在する約 41 千 ha の国有林野を対象としており、<sup>な すだけ</sup>那須岳を源とする那珂川流域に位置することから、本計画区域の国有林の 91% が水源かん養又は土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>本計画区の西側に位置する那須地域や塩原地域は、国有林野の 59% が自然公園等に指定されており、登山、スキー等、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている一方、東側の<sup>やみぞ</sup>八溝地域や<sup>たかほら</sup>南西部の高原地域は、木材生産の盛んな地域であり、木質バイオマス発電施設やスギ・ヒノキ乾燥材の一大生産拠点を形成する大型の製材工場が立地している。</p> <p>森林の現況は、スギ・ヒノキを主とした人工林が分布しており、本計画区内の人工林率は 34% となっている。また、人工林の齢級構成は 9 齢級以上の森林が 78% を占め、森林資源の成熟に伴い主伐が増加していく状況にある。このため、自然条件や社会的条件を考慮して伐採箇所を選定するとともに、花粉の少ない森林への転換や鳥獣被害対策を行いながら確実な更新を図る等、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>以上のように、本計画区の国有林野は、水源の<sup>かん</sup>涵養、山地災害の防止、木材をはじめとする林産物の供給などの機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところである。また、近年、これらの機能に加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の有する多面的機能の発揮に対する国民の期待がますます高まっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能及び山地保全機能等の持続的な発揮を図るため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、主伐跡地における植栽等の更新作業、下刈や間伐等の保育作業並びにその効率的・効果的な実施に必要な路網の整備を実施するものである。</p> <p>事業の実施に当たっては、作業効率の向上とコスト縮減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムを推進するとともに、保育作業等の実施箇所では、効率的でかかり木の発生が少なく労働安全性が高い列状間伐の実施、下刈回数の縮減や機械化による軽労化、伐採時の生産性向上、獣害防止対策などの取組を推進する。なお、植栽樹種がスギの場合には、原則</p>		

	<p>として花粉の少ない苗木への移行を図ることとする。</p> <p>これらの取組は、国有林が先頭に立ち民有林に波及させる必要があるため、引き続き、本事業を実施する中で現地検討会等を積極的に開催し、県や市町村とも連携して取り組んでいくこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>940ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,085ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>90.89km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>10.31km</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費 21,045,585 千円 (税抜き 19,132,351 千円)</li> </ul>	森林整備	更新面積	940ha		保育面積	6,085ha	路網整備	開設延長	90.89km		改良延長	10.31km
森林整備	更新面積	940ha											
	保育面積	6,085ha											
路網整備	開設延長	90.89km											
	改良延長	10.31km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td style="text-align: right;">35,434,499 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">25,801,915 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">1.37</td> </tr> </table>	総便益 (B)	35,434,499 千円	総費用 (C)	25,801,915 千円	分析結果 (B/C)	1.37						
総便益 (B)	35,434,499 千円												
総費用 (C)	25,801,915 千円												
分析結果 (B/C)	1.37												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。事業の効率性や生産性の向上につながる成果は、現地検討会やホームページでの結果の公表等を通じて、民有林関係者等への普及・定着に取り組まれることを望まれる。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本計画区は、高原林業地や八溝林業地といった優良な人工林地帯を有しており、大型の製材工場等が多数存在していることから、本事業の実施により、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に資するとともに、事業の実施を通じて生産されたスギ・ヒノキ等の木材を安定供給することにより、地域の林業・木材産業の振興に寄与することから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備については、列状間伐の実施やコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムの推進、下刈回数削減及び高性能林業機械導入による低コストで効率的な作業システムの推進により事業コストの削減とともに、防護柵の設置やわな捕獲によるシカ等の被害防止対策を図ることとしている。また、路網整備においても、森林整備が困難であった箇所への林業専用道の新設や路体の拡幅、舗装などの既設路網の改良がアクセスの向上による事業区域の拡大につながり、森林整備の促進が図られることから、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮される。また、整備した路網を活用した森林資</li> </ul>												

源の循環利用が図られており、引き続きその効果が発現されると見込まれる。さらに、スギ人工林等の伐採、花粉の少ない苗木への植替えにより花粉発生源対策にも寄与することから事業の有効性が認められる。

新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能類型区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：栃木県

施行箇所：那珂川森林計画区(塩那森林管理署)

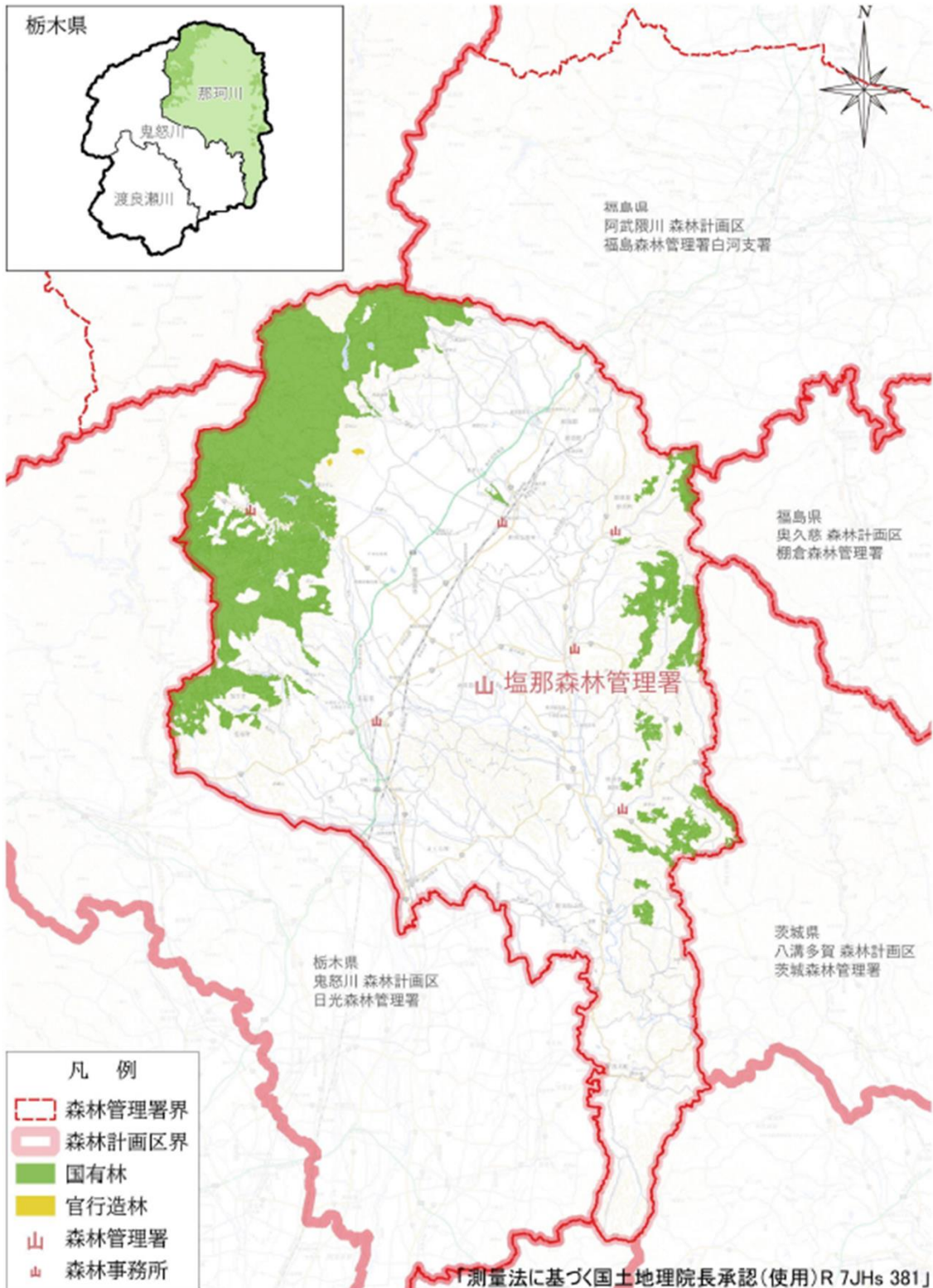
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,798,653	
	流域貯水便益	991,769	
	水質浄化便益	4,317,752	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,088,284	
環境保全便益	炭素固定便益	1,037,125	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,047,869	
	木材利用増進便益	152,030	
	木材生産確保・増進便益	2,581,638	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	15,419,379	
総 便 益 (B)		35,434,499	
総 費 用 (C)		25,801,915	
費用便益比	$B \div C = \frac{35,434,499}{25,801,915} = 1.37$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{56,007,520}{30,606,744} = 1.83$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{72,076,743}{33,878,577} = 2.13$

# 森林環境保全整備事業 那珂川森林計画区 事業概要図 (塩那森林管理署)



## 森林整備

更新面積 940ha  
保育面積 6,085ha

## 路網整備

開設延長 90.89 km  
改良延長 10.31 km